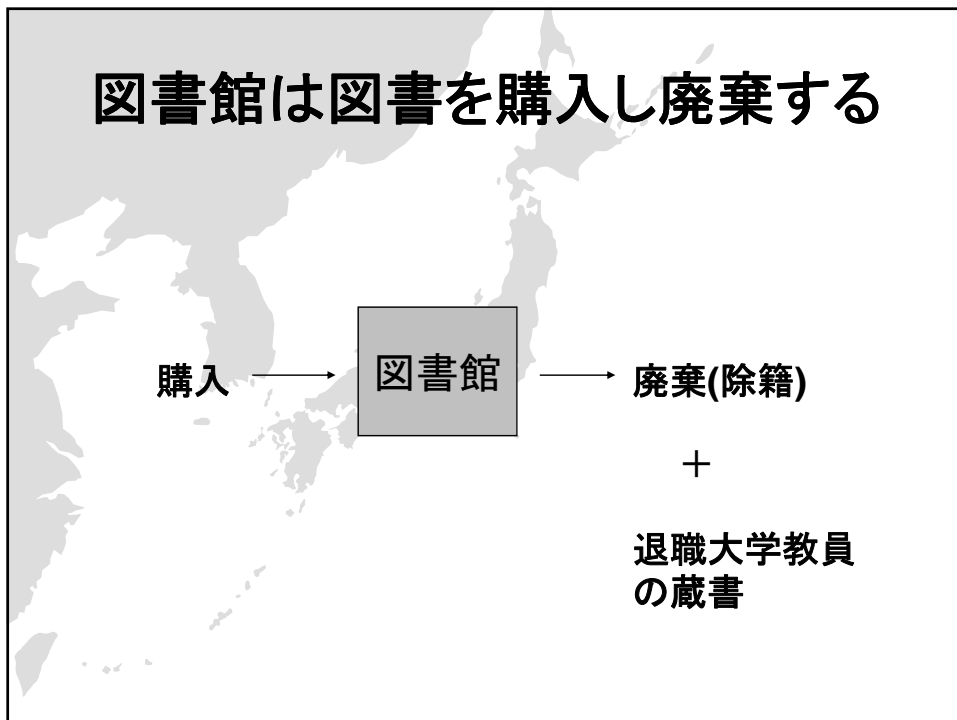


平成21年7月4日

市内図書館(市立および大学付属) における除籍図書資料の再利用法

—アジア諸国図書館情報ネットワーク構築—

岩崎 輝行



図書館は図書を購入し廃棄する

購入 → 図書館 → 廃棄(除籍)

+

退職大学教員の蔵書

除籍図書の利用

市立図書館 アジアに関心ある市民、市内在住アジア諸国の住民、アジア諸国と取引ある企業

市内大学付属図書館 アジア諸国言語あるいはアジア関連科目を持つ大学、アジア諸国研究者、アジア諸国留学生



アジア諸国大学付属図書館 日本語あるいは日本関連科目を持つ大学、日本研究者、日本の情報を必要とする企業

在外機関への寄贈

国際交流基金日本文化センター

北京、ソウル、ジャカルタ、バンコック、クアラルンプール、マニラ、ハノイ、ニューデリー

国際協力機構(JICA)

人材育成センター:大連、タイ、スリランカ等

人材開発センター:カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム

提携図書館候補

横浜 1. 市立中央図書館

2. 大学附属図書館

横浜国立大学

横浜市立大学

神奈川大学

中国 大連交通大学

韓国 仁川大学校

研究項目

1. 図書除籍基準と処分方法

2. 除籍図書交換・贈与方法

3. 対象外国語図書への需要内容

市内図書館 中国語図書と朝鮮語図書

大連交通大学と仁川大学校 日本語図書

4. 図書システムとサービス内容

5. 複写サービスとレファレンス・サービス海外
供与条件

6. 図書システムを利用する語学研修方法

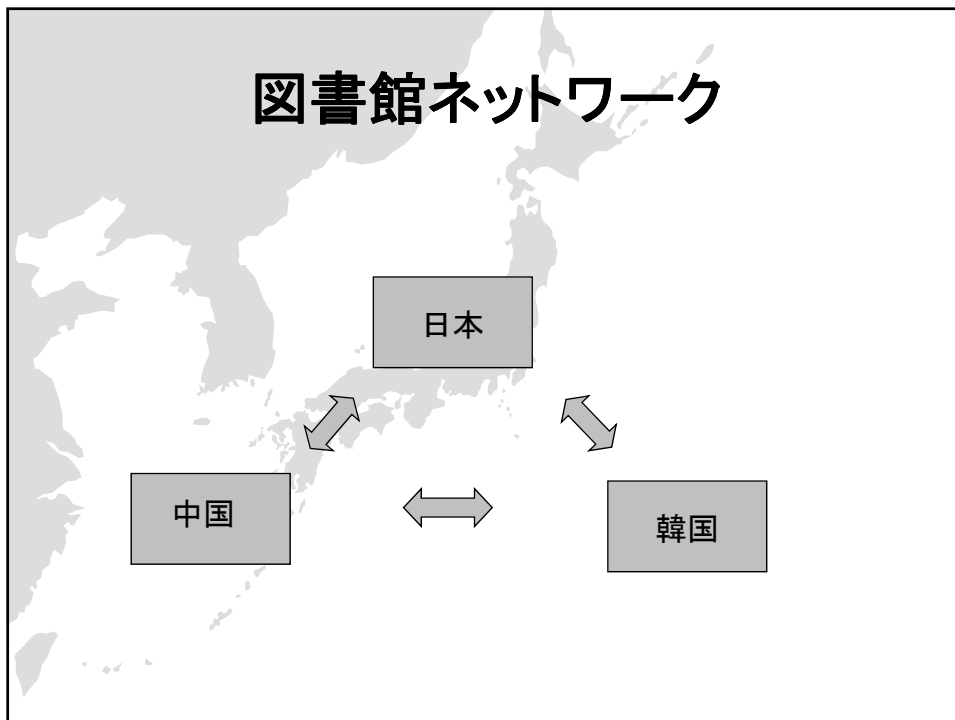
研究体制と方法

1. 研究体制 委員5人

岩崎 輝行 日本大学非常勤講師 総括
花房 征夫 東北アジア資料センター代表 仁川大学校担当
容 應輿 亜細亜大学教授 大連交通大学担当
斉藤 進 神奈川共同出版販売(株)取締役
司書 参加予定

2. 研究方法 主として面接調査

図書館ネットワーク





将来への展開 図書館情報ネットワーク構築

I. 図書館サービスの相互供与

1. 図書資料情報
2. 複写サービス
3. レファレンス・サービス
4. 語学研修

II. アジア諸国図書館内日本語図書室設置



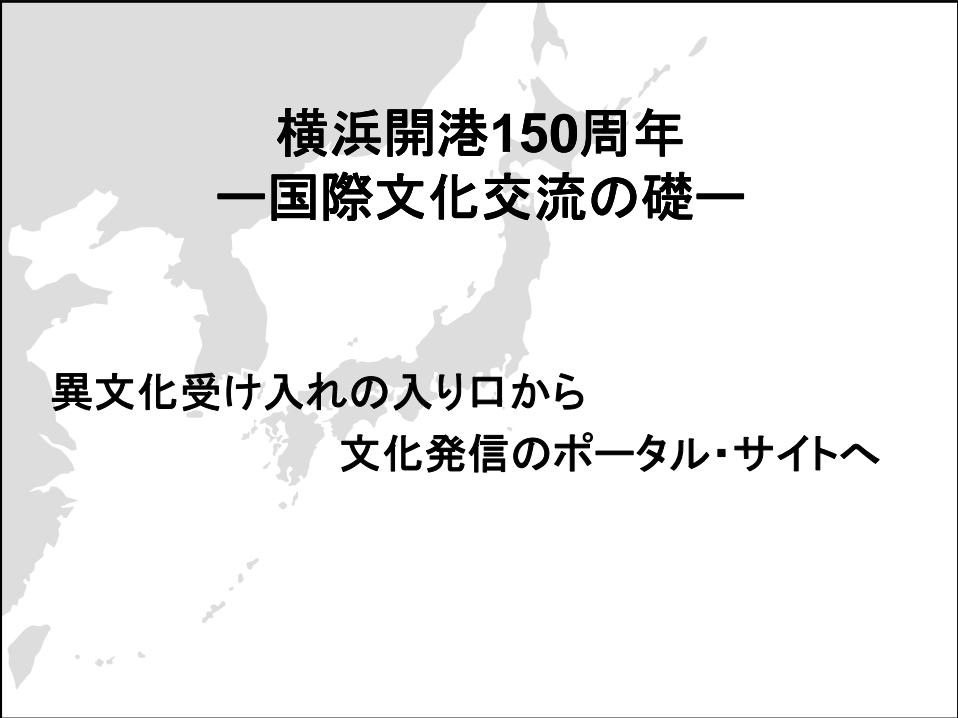
図書館業務の標準化

図書分類コード照合

著作権概念の統一

電子図書の扱い

新しい図書館サービス



**横浜開港150周年
—国際文化交流の礎—**

異文化受け入れの入り口から
文化発信のポータル・サイトへ